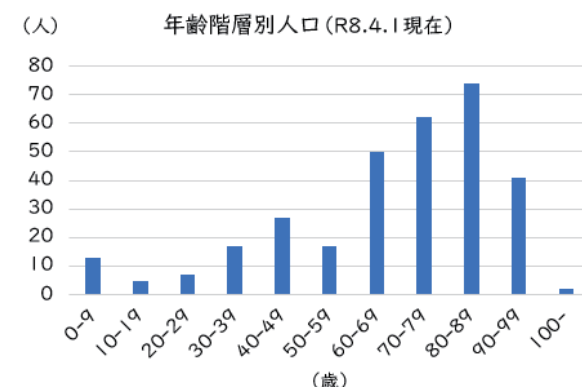


上分地区地域福祉活動計画

上分は、美郷（吉野川市）に続く「北谷」、剣山（美馬市）に向かう「中の谷」、南方（那賀町）に伸びる「南谷」の 3 つの谷によって構成されています。そして、各谷の集合点にある川又には、現在も公民館や郵便局があり、人の行き交う交差点のような場所になっています。

また、神通の滝やヒメシャガの群生地など神山町内でも自然豊かな地域です。



地域の強みを活かして 5 年後・10 年後に向けた取り組みの第 1 歩

地域住民から見た地域の状況

地域の強み	【人・つながり】 ・人とのつながりが強い ・助け合う姿勢が強い ・信頼関係、絆が深い ・元気な高齢者が多い ・移住者や、若者が増えている ・いろいろな助けをくれるあたたかさ ・多世代が交わっている 【自然・観光名所】 ・観光スポットが多い（満月イチョウ、花の名所など）
地域の弱み	【人口減少・高齢化】 ・子どもが遊ぶ機会が少ない ・隣近所が少なく話す相手がいない ・助け合える人がいない
地域の生活課題	【人口減少】 ・今の役割をどうするのか（消防団、お宮、部落会長など） ・住民の交流をもっと増やしたい 【世代交流】 ・地域活動や地域の習わしの継承 【日常の困り事・あったらいいな】 ・ちょっとした困りごとに対応できるサービス ・困ったときの居場所づくり



上分を元気にする合いことば 「上分のわ」



【地区の状況・地域活動者数（一部抜粋）】 R 8.4.1 時点

■人 口	315人	■世帯数	186世帯
■高齢化率	63.8%	■部落数	30 地区
■1人暮らし高齢者数	82名	■民生委員・児童委員	6 名
■老人クラブ会員数	67名	■高齢者サロン	2箇所
■教育関係	0箇所		
■防災関係	消防団上分分団 3 部 自衛消防隊 8 地区 避難場所 1 箇所（上分公民館）		
■主な団体	上分地区チャレンジ神山推進協議会、上分福寿会、上分地区民生児童委員協議会 神山町上分芸能会、名西交通安全協会上分分会 上分遺族会、神山町消防団上分分団 ほか		

タイトル	目 標	なにを・どうする
交流	・交流を増やし気軽に集まれる場所をつくり、人とのつながりを活かして仲間をつくる	・公民館を開放し、料理教室を開催する ・夏場にクーラーをかけて公民館を開放する ・防災訓練のような催しを企画する（補助金を活用しよう！） ・まほろばガーデンを活用する ・LINE グループをつくる ・サロン活動を増やす
たすけあい	・ちょっとした困りごとに対応できるようにする	・困っている内容を知る機会をつくる（困りごとを役場の中にとどめない） ・LINE グループをつくる ・手間ひまを惜しまない気持ち ・困っていることがないか声掛けをする
活動の継続	・運動会など集える場所を無理なく継続する	・イベントの情報を公開しみんなに伝える（LINE グループ活用・上分だより） ・人数に合わせた規模で活動を行う ・重荷にならないよう役割分担をする
ボランティア	・ボランティアの輪をつくる	・アドプトサークルをつくる（大人はゴミ拾い、子どもは公民館 2 階の託児所へ） ・最後に手土産をだす ・たすけあいの気持ちで気持ちの疎通をはかる ・妙法寺さんの法話（＝ボランティアの輪を広げる）